

## 北沢地域 これまでの主な取り組み

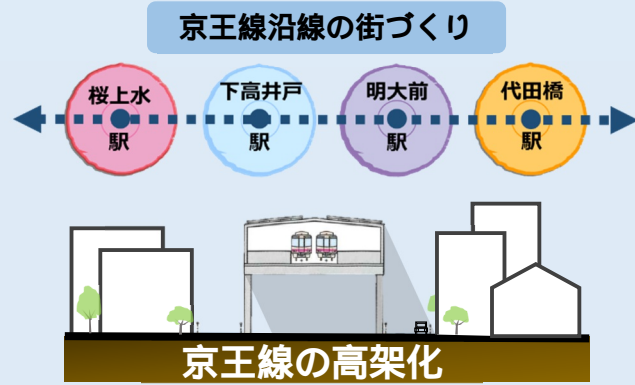
北沢地域の街づくりの主な取り組みを示しています。アンケート回答の際に参考にしてください。

凡例

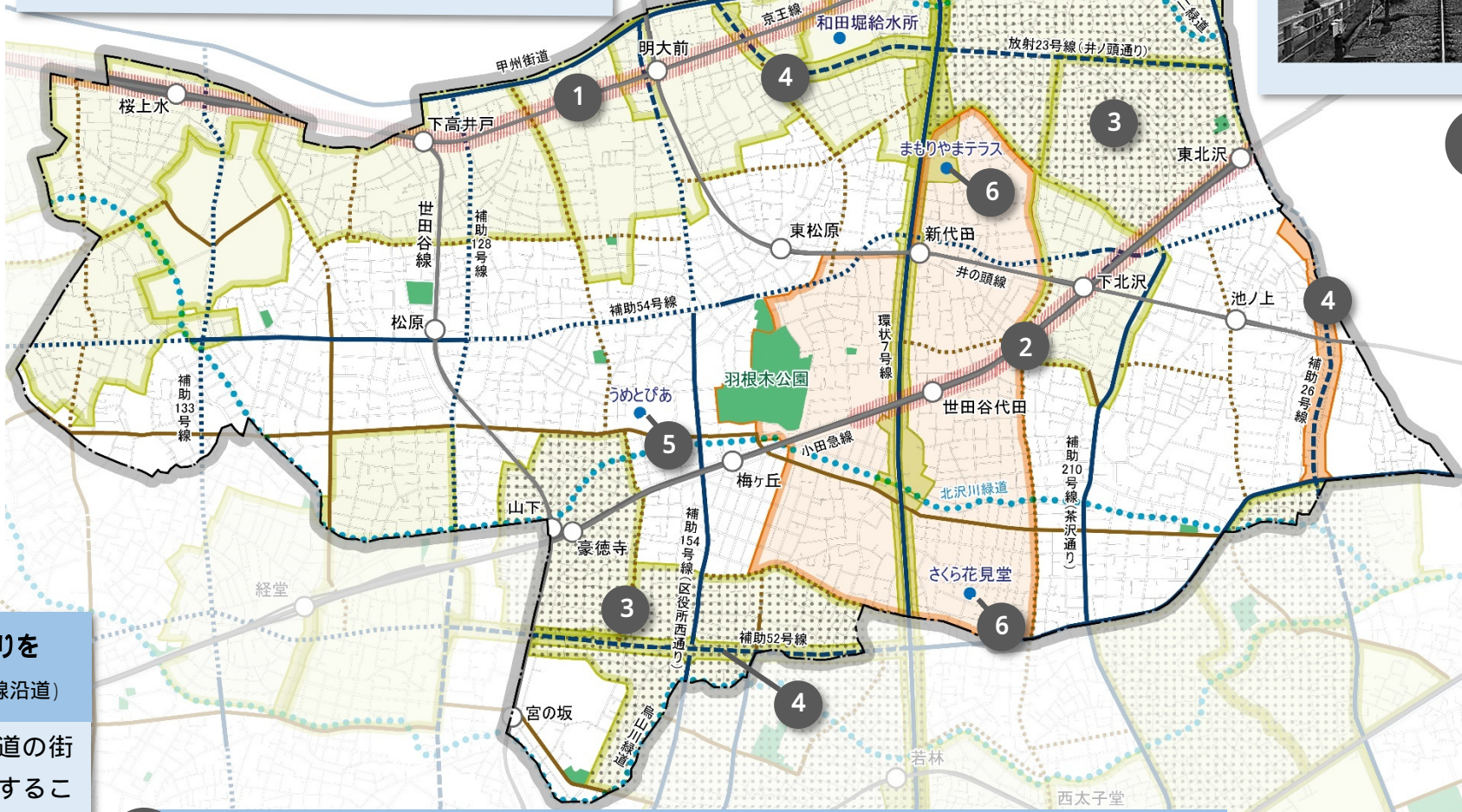
- 地区計画・沿道地区計画・地区街づくり計画を策定している地区
- 地区計画などの策定を目指し、検討中の地区
- 京王線沿線・小田急線沿線の街づくりエリア
- 新たな防火規制区域
- 鉄道・駅
- 都市計画公園・緑地(開設)
- 水辺や緑道等
- 都市計画道路(整備済・概成)
- " (事業中)
- " (未整備)
- 主要生活道路(整備済・概成)
- " (未整備)



## 1 京王線の高架化事業を契機に沿線の街づくりを促進(代田橋駅、明大前駅、下高井戸駅、桜上水駅)



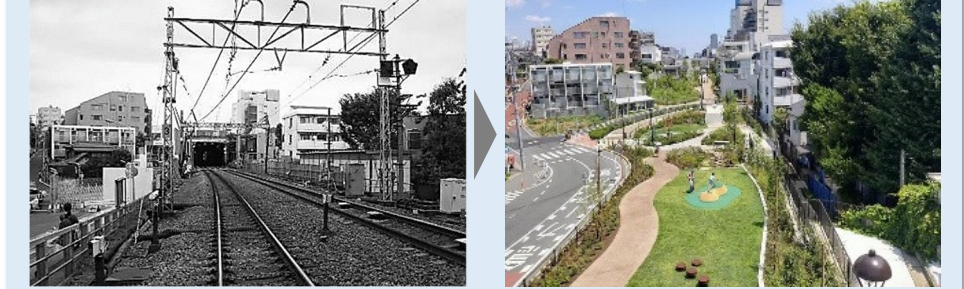
沿線各駅周辺の地区では京王線の高架化事業を契機として、地域の皆様から街づくりの提案を受け、各駅に地区街づくり計画などを策定しています。



## 2 小田急線の地下化に伴い、線路跡地を整備(梅ヶ丘駅～代々木上原駅)

小田急線の地下化に伴い生じた上部空間について、防災とみどりの基軸をコンセプトに、3駅をつなぐ通路及び広場・緑地を、住民参加で計画を検討し、整備を進めています。

電車が走っていた線路跡地に整備されたシモキタ雨庭広場(R4)



## 3 燃えにくい建物への建替えを促進

木造住宅が密集している地域で、不燃化特区制度による燃えにくい建物への建替えに伴う費用の助成や、新たな防火規制等の規制誘導、道路や小公園の整備などにより、地区内の防災性を高める街づくりを進めています。

○不燃領域率の推移

(不燃領域率)	北沢三・四丁目地区	北沢五丁目・大原一丁目地区
平成23年度(2011)	46.2%	48.2%
令和4年度(2023)(推計値)	59.1%	60.1%

不燃領域率 = 市街地の燃えにくさを表す指標

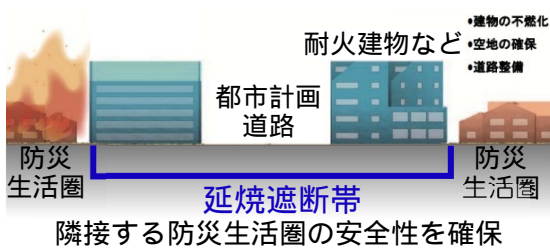


## 4 道路整備に合わせて沿道の街づくりを促進(補助52号線、放射23号線、補助26号線沿道)

都市計画道路の整備に合わせて、沿道の街づくりルールを定め、用途地域を変更することで、沿道の街並みや災害に強い街づくりを誘導しています。

【延焼遮断帯とは】

道路と沿道の耐火建築物により、火災の延焼を遮断します。震災時の避難経路、救援活動時のネットワークを確保します。



## 5 保健医療福祉の拠点、「うめとびあ」開設

都立梅ヶ丘病院の閉院(H22)に伴い、保健医療福祉の全区的な拠点「うめとびあ」として区複合棟「保健医療福祉総合プラザ」、民間施設棟「東京リハビリテーションセンター世田谷」の2棟を整備しました。CO2排出削減や公園・広場など交流の場の創出、緑地などの景観形成のほか、「梅ヶ丘駅～豪徳寺駅・山下駅界わいユニバーサルデザイン計画」をまとめ、駅からの案内サインや誘導ブロック等、「やさしいまちづくり」を進めています。

ユニバーサルデザイン計画(抜粋)



保健医療福祉総合プラザ(R2)



## 6 地域コミュニティ拠点「まもりやまテラス」、「さくら花見堂」開館

小学校統合により、2つの複合施設がオープンしました。地域に親しまれる施設となるよう、地域の方々と施設機能や配置、運営などの検討を重ねてきました。オープン後は地元運営組織との連携の下、様々な活動やイベントの拠点となっています。

まもりやまテラス(H31)



さくら花見堂(R3)

